

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成29年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
1	平成29年度連携事業の計画等に関する打合せ	4月	大阪国際大学 摂南大学 大阪樟蔭女子大学	地域協働センター 研究支援・社会連携センター くすのき地域協創センター	————— ————— —————	平成29年度の門真市と大学との、連携事業の年間計画について、打合せを行った。	市民生活部 地域政策課	
2	オリジナル婚姻届・婚姻届記念証及び出生届記念証配布事業	4月～11月 (平成29年2月からの実施)	大阪樟蔭女子大学	学芸学部化粧ファッション学科	渡邊 正人	渡邊教授の授業時間内において、グループごとによる門真市オリジナルの婚姻届・婚姻届記念証及び出生届記念証を製作してもらおう依頼した。平成29年6月には渡邊ゼミの学生たちを門真市内の名所や史跡に案内することで、門真市の特徴や雰囲気を知ってもらい、その後6月～8月にかけて各グループによる案を製作。その後、各グループのデザイン案による市民投票を門真市役所内と大阪樟蔭女子大学内においてそれぞれ実施した。投票結果に基づき、配布するデザイン案を決定。平成29年11月6日にはオリジナル婚姻届及び婚姻届記念証を、平成29年11月10日には出生届記念証の配布を開始した。	市民生活部 市民課	30年度以降も当事業で製作した届書及び記念証は配布を続けるものである。
3	平成29年度春の全国交通安全運動及び秋の全国交通安全運動	4月・9月	摂南大学	吹奏楽部	—————	交通安全運動初日に、「駅前ふれあいコンサート」と称して吹奏楽部による演奏及び啓発活動のお手伝い。	まちづくり部 地域整備課	平成30年春の交通安全運動に関しては、園児たちによる演奏等を予定している。秋に関しては検討中である。
4	「イキ×ラボweek!」における市職員の派遣	4月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—————	学生へボランティア活動及び地域との連携等にかかる説明を行う「イキ×ラボweek!」において、門真市職員が市の概要や大学との連携について、学生へ説明を行った。また、門真市のPRを行うため、ガラスケの出演も行った。	市民生活部 地域政策課	
5	ラブリーフェスタ'17実行委員会への参画	5月～10月	摂南大学	経営学部 経営情報学科	久保 貞也	学生が企画段階から参画。当日、学生が門真市をPRするカードゲームを実施するとともに、学生考案の食品販売等を行った。	古川橋南北地域活性化協議会	
6	門真市スポーツ・レクリエーション大会事業	5月～11月	大阪国際大学	人間科学部	横山 誠 玉井 久実子	横山准教授及び玉井先生には、スポーツ・レクリエーション大会実行委員会の委員として、大会の企画運営に助言をいただくとともに、同学部の学生を委員及びボランティアスタッフとして積極的に派遣していただいている。秋のレクリエーション部門では、委員として参画している学生より、運営に際して積極的な提案もあり、年々充実した大会運営を行うことができている。	教育部 社会教育課	
7	かどま土曜自学自習室サタスタ事業・まなび舎Kids	5月～3月	摂南大学	教育部教職支援センター	—————	放課後や週末等に、学校施設及び社会教育施設などを活用し、学習アドバイザーとして、児童・生徒の自学自習の支援を行う事業に学生ボランティアが参加。	教育部 社会教育課	
8	研究倫理申請委員会委員の委嘱	6月～3月 (※任期は平成31年3月まで)	大阪国際大学	庶務課	—————	教員が行う人間を対象とした調査または研究において、倫理的(人権)配慮を図るため、設置される研究倫理申請委員会の委員に地域政策課職員が委嘱され、研究にかかる審議等を行った。	市民生活部 地域政策課	
9	門真市個人情報保護審議会	6月	摂南大学	法学部	小野 晃正	門真市個人情報保護条例に定める門真市個人情報保護審議会の委員(学識経験者)として、当教職員の推薦があり、委嘱を行った。平成29年7月31日に開催した門真市個人情報保護審議会では、審議会委員として、出席していただき、慎重かつ適正に審議していただいた。	総務部 総務課	任期が、平成31年5月30日までとなっているため、平成30年度も引き続き協力いただく。
10	枚方信用金庫(大和田支店・門真東支店)でのチラシラックの設置	6月～3月	枚方信用金庫	—————	—————	枚方信用金庫(大和田支店・門真東支店)で、チラシのラックを設置し、市政やイベント等について、情報周知を行った。	企画財政部 魅力発信課	
11	「経営経済学部」開設記念 第29回国際シンポジウム	6月	大阪国際大学	国際関係研究所	—————	宮本市長がパネリストとして参加し、「未来を創り、社会を変える、ひとづくり」をテーマにディスカッションを行った。	市民生活部 地域政策課	
12	砂子校区夏祭り	6月～8月	大阪国際大学 摂南大学	ボランティア活動研究会 ボランティア・スタッフズ	横山 誠 玉井 久実代 浅野 英一	砂子校区夏祭り実行委員会が、砂子校区の地域活性化に資するため実施する夏祭りにおいて、学生が夏祭りの企画、運営に参画し、地域内を練り歩くだんじりの誘導や模擬店の出店等を行った。	砂子校区夏祭り実行委員会	
13	門真市教育委員会点検・評価検討委員会	7月、8月	大阪国際大学 大阪樟蔭女子大学	短期大学部 幼児保育学 学芸学部	山内 稔 萩原 雅也	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、意見や助言等を行った。	教育部 教育総務課	
14	2017年度大阪樟蔭女子大学くすのき地域社会論 講義	7月、12月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也	地域社会の課題や現状について考察を深めるため、地域づくりに携わる各種団体からの講義を実施する「くすのき地域社会論」において、門真市職員が門真市の取り組み等について講義を実施。	市民生活部 地域政策課 教育部 学校教育課 社会教育課	地域政策課、学校教育課及び社会教育課の職員が講師として参画
15	門真市男女共同参画審議会	7月	大阪国際大学 追手門学院大学	人間科学部 地域創造学部	西岡 敦子 山本 博史	平成29年度男女共同参画委員会の委員として、男女共同参画の推進に関する重要事項について、調査審議し、意見交換や助言等を実施。	市民生活部 人権女性政策課	
16	かどま七夕キャンドルナイト	7月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—————	大阪樟蔭女子大学イキ×ラボ・チャレンジプロジェクト「キャンドルナイト」の学生がリサイクルプラザの活性化の取り組みの一環として、キャンドルの展示を実施。	市民生活部 環境政策課	

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成29年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
17	門真市文化芸術 振興審議会	8月、1月	大阪国際大学	短期大学部	朝倉 洋	平成29年度門真市文化芸術振興審議会委員として、文化芸術の振興を推進 について審議し、意見交換や助言等を行う。	市民生活部 文化・自治振興課	
18	門真市国民健康 保険運営協議会	4月～7月 (任期は27年 8月より)	摂南大学	経済学部	平野 泰朗	本市国民健康保険事業に係る保険料率に関する事項、保険給付の種類及 び内容に関する事項、その他事業運営に関する重要な事項について、市長 の諮問に応じ、答申を行う。	保健福祉部 健康保険課	
		8月～3月		看護学部	小堀 栄子			
19	門真市社会教育 委員	8月～3月	大阪国際大学	人間科学部	船越 達也	社会教育に関する諸計画を立案するほか、定時又は臨時に会議を開き、教 育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べる。	教育部 社会教育課	
			大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也			
20	あおぞら保育(公 園版・室内版)	8月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター		学生がボランティアとして、8月24日「あおぞら保育(室内版)」に参加。会場の 設営・受付を通して、地域支援事業について知ってもらうとともに、担当保育 士が実施する体操、手遊び等の育児プログラムの補助に入る。	こども部 子育て支援課	
21	キッズサポーター 事業	8月～3月	枚方信用金庫			上野口小学校区及び脇田小学校区において、支店近くの通学路にて、児童 の登校を毎日見守り。	教育部 社会教育課	
22	「もったいない」普 及事業 エコクッ キング、エコ工作	8月、9月、 11月、12月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター		大阪樟蔭女子大学イキ×ラボ・チャレンジプロジェクトとして学内で学生を公 募し、選定された学生が講師となって、余った食材やペットボトルを使ったエ コなクッキング、工作を講座参加者に教え、市民に対し、環境に対する意識 啓発を図った。	市民生活部 環境政策課	
23	「キラッと！かどま 2017」市内統一清 掃	9月	枚方信用金庫			枚方信用金庫については、市内一斉清掃への参加や清掃ウィークにあわせ 大和田支店・門真支店の周辺を清掃いただいた。 また、摂南大学については、市内一斉清掃に15名の学生の方たちにお越し いただき、京阪電鉄古川橋駅周辺にて、午前10時30分から11時30分までゴミ 拾い等の清掃活動に協力していただいた。	市民生活部 環境政策課	30年度以降におい ても、包括連携協定を締 結する大学の学生の 方々を招き、本事業を 開催したい。
			摂南大学	経営学部 経営情報学科	久保 貞也			
24	平成29年度 門真 市敬老会事業	9月	大阪国際大学	吹奏楽部		高齢者の長寿を祝うことにより高齢者のますますの健康と福祉の増進を図 るとともに、学生の日々のクラブ活動の成果を発表する場として、門真市敬老 会催しの部で演奏を実施。	保健福祉部 高齢福祉課	
25	樟蔭学園創立100 周年記念式典へ の出席	10月	大阪樟蔭女子大学	総務課		記念式典の来賓として、宮本市長が出席した。	企画財政部 秘書課	
26	大学教員リレー講 座	10月～11月	大阪国際大学	グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科	玄野 博行	市民の皆さんの私生活に活かしていただけるようなグループワークや、多彩 なテーマの講座を3日間にわたって実施した。10月18日の講座では、自分新 聞を作成し、マーケティングについて考え、新たな発見に繋がるグルー プワークを行い、10月24日の講座では、スマートフォンに潜むサイバー攻撃の 恐ろしさについて、11月1日の講座では、ストレスとの上手なつき合い方な ど、それぞれ特色のある講座を行った。	市民生活部 地域政策課	
			摂南大学	経営学部 経営情報学科	針尾 大嗣			
			大阪樟蔭女子大学	学芸学部 心理学科	佐久田 祐子			
27	大学との協働によ る公共建築の事業 検討	10月～3月	摂南大学	理工学部 住環境デザイン学科 建築学科	稲地秀介 小林健治	公共施設マネジメントの推進の一環として、公共建築の事業検討のプロセス において、民間アイデアの活用をするため、保健福祉センター内に開設予定 の(仮称)地域子育て支援センターのプラン検討を摂南大学理工学部と協働 し実施した。成果として学生が作成した模型と図面の提供を受けた。	まちづくり部 公共建築課	30年度以降におい ても、公共施設マネジメ ントの推進のために摂南 大学及び他の大学の建 築系学科と連携し事業 検討や調査研究を実施 していく予定である。
28	子育て支援員研修 地域保育コース (地域型保育)の 実施	11月～12月	大阪国際大学	短期大学部 幼児保育学科	久保田 健一郎 (その他研修担当 講師複数名)	門真市内に在住または在勤の方で、保育や子育て支援の仕事に関心があ り、市内で保育や子育て支援の分野の各事業に就労することを希望する方 を対象に、国の定める「子育て支援員研修実施要綱」において規定されてい る研修科目に基づき、子育て支援員研修(基本研修及び専門研修【地域保 育コース(地域型保育)】)を全6回の講座にて実施した。	こども部 こども政策課	
29	「北河内を知る」の 講師の担当	11月～12月	摂南大学	教務課		北河内地域の特性や課題等を把握し、学生がグループとなり、課題解決の 方策を検討することを目的とした「北河内を知る」において、門真市職員が市 政の概要や総合戦略等について講義を実施した。 また、その後の学生からの最終発表会において、質問や講評等を行った。	企画財政部 企画課 市民生活部 地域政策課	企画課職員が講師と して参画し、最終発表会 の講評等を地域政策課 が行った。
30	「門真市と追手門 学院大学との包括 連携協定締結式」 の開催	11月	追手門学院大学	総務課		相互の発展と活性化に資するため、包括連携協定を締結した。	市民生活部 地域政策課	
31	門真市市民公益 活動事業補助金 審査会	11月	大阪国際大学	人間科学部	西岡 ゆかり	門真市市民公益活動事業補助金の交付に当たり、客観的な審査を行い、事 業の適正な運営を図るため、門真市市民公益活動事業補助金審査会委員と して、審議をいただいた。	市民生活部 地域政策課	

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成29年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
32	「青少年の主張」事業	12月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也	「青少年の主張」事業は、本市の青少年が毎日の生活の中で、考えていること・感じていることを自己の主張として文章にまとめ、社会に提言・主張することにより、物事に対する考え方や理解力を高めるとともに、国際社会の中で活躍できる、広い視野と想像力を持ち、主張できる青少年を育成する。萩原教授には「青少年の主張」発表会の審査員長としてご協力いただき、公平な審査をすることができた。	教育部 社会教育課	
33	2017年度摂南大学PBLプロジェクト最終報告会	1月	摂南大学	教務課		PBLプロジェクトを通じて取り組んだ事業について学生から報告が行われ、門真市職員が出席し、質疑等を行った。また、学生からの報告の他、基調講演やパネルディスカッションが行われた。	市民生活部 地域政策課	
34	第五中学校区地域会議主催「防災・安全安心体験フェス」への協力	1月、2月	大阪国際大学	プレッパーズ部	西岡 ゆかり	2月に開催された「防災・安全安心体験フェス」での防災ランプの作製にあたり、プレッパーズ部より1月に、第五中学校区地域会議の関係者が指導等を受けた。	第五中学校区地域 会議	
35	第4回かどまエコフェスティバル	2月	大阪国際大学	地域協働センター		大阪国際大学:良好な環境を次世代に残すために、環境の意識啓発を目的として行った門真市立リサイクルプラザでのイベントの中で廃油を利用した安全な防災ランプ作りを実施した。 摂南大学:環境と人をつなぐ架け橋となる人材を育てる「エコシビル部」は河川を中心として環境保全に取り組む団体であり、かどまエコフェスティバルにおいて活動用のボートの展示とともに活動内容の紹介を実施。	市民生活部 環境政策課	
			摂南大学	エコシビル部				
36	めざせ世界へはばたけ事業	2月	大阪国際大学	国際教養学部	久保 由加里	めざせ世界へはばたけ事業は、門真市と世界を舞台に活躍するグローバルな人材を育成するため、中学生英語プレゼンテーションコンテストを開催するとともに、中学生海外派遣研修を実施している。久保准教授には、海外派遣研修の委託事業者を選定する中学生海外派遣研修業務委託事業者選定委員会の委員として、委託事業者を選定するために必要な事項についてのご意見を頂戴したことで、選定委員会の質を向上させることができた。 また、第7回門真市中学生英語プレゼンテーションコンテストで、審査員としてご協力いただいたことで、公正な審査を行うことができた。 松宮教授には、海外派遣研修事前研修や英語プレゼンテーションコンテスト事前研修で、中学生に対して、英会話のポイントやプレゼンのノウハウ等、講義をしていただいたことで、質の高い研修を行うことができた。また、第7回門真市中学生英語プレゼンテーションコンテストで審査員長を務めていただき、厳正な審査を行うことができた。 松宮教授・原講師には、めざせ世界へはばたけ事業推進委員会の委員としてご意見を頂戴したことで、事業の推進につなげることができた。また、第7回門真市中学生英語プレゼンテーションコンテストの二次審査員も務めていただいたことで、質の高い審査を行うことができた。	教育部 社会教育課	
		5月～2月	追手門学院大学	国際教養学部	松宮 新吾 原 めぐみ			
37	認知症サポーター養成講座	2月	枚方信用金庫			高齢者の認知症について正しく理解し、窓口対応や市内での移動の際、また日常生活においても困っている認知症高齢者等に適切に対応していただくため、認知症サポーター養成講座(約90分、大和田支店及び門真東支店にて)を受講。受講後はサポーターの証であるオレンジリングを配布し日頃よりつけていただく。	保健福祉部 高齢福祉課	
38	大学連携推進に関する市職員研修	2月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター		新たな視点での大学連携の実績を創出することを目的に、くすのき地域協創センター職員を講師として招き、大学連携に関するメリット等について講義をいただくことにより、市職員の新たな気づきとなった。	市民生活部 地域政策課	
39	2017年度地域協働センター活動報告会	3月	大阪国際大学	地域協働センター		大阪国際大学が地域と連携し取り組んだ事業について、教員及び学生より報告会が行われ、門真市職員が出席した。	市民生活部 地域政策課	
40	心理コミュニケーション学科協カプログラム「カメラで発見!フォトベースドコミュニケーション」報告会	3月	大阪国際大学	人間科学部	青野 明子 林 幸史	カメラを通じて、子どもたちが自己表現の喜びと相互理解の大切さに気付くとともに、細やかなコミュニケーションが出来るよう成長を促すことを目的としたプログラム「カメラで発見!フォトベースドコミュニケーション」の報告会に地域政策課の職員が参加した。	市民生活部 地域政策課	
41	イキ×ラボ 学生プロジェクト報告会	3月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター		大阪樟蔭女子大学くすのき地域協創センターでは、学生の学びと地域社会を繋ぎ、行政・地域住民・企業・NPO等との連携を通し、学生視点の地域貢献活動を総合的にサポートしている。学生が地域・行政等と連携し企画・実践した様々なプロジェクトの成果を発表する場として平成29年度報告会を実施。門真市からはイキ×ラボ・チャレンジプロジェクト等で学生と連携事業を実施した各課及び次年度以降連携事業を行う関係者等が出席し、学生の発表について評価した。	市民生活部 地域政策課 市民課	

※大学の学部や企業、事業所管等の組織名称は平成29年度時点の名称としています。